

# 魅力再発見！ 石の宝殿と竜山周辺のクイズラリー

開催期間 2018年10月1日(月)～11月30日(金)

講演とルート案内:10月8日(体育の日)9:30～12:30

集合場所:生石研修センター 受付:9:00 (10月8日のみ)



写真は(高砂市教育委員会『史跡 石の宝殿及び竜山石採石遺跡保存活用計画』より)

## 魅力再発見！！石の宝殿と竜山周辺のクイズラリー 回答用紙

問題	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—
回答											採点 確認

問題は次のページ

主催：石の宝殿研究会

帰りにアンケートと回答用紙を出してすてきな記念品を貰っちゃおう！

# 魅力再発見！ 石の宝殿・竜山周辺のクイズラリー

## 問題用紙

石の宝殿研究会

番号	出題の史跡	解 説	問 題	回答 (3 択)	
1	研修センター前の浮き石のレプリカ	「浮石」のレプリカは宝殿駅の北側に寸法4分の1。ここに5分の1のものが設置してある。	研修センター前のものと宝殿駅北側のものではどちらが重いか。	イ ロ ハ	同じ 研修センター前 宝殿駅北側
2	教育センターの中庭の石造品	ここには石棺、井戸枠、灯籠など石造品が、市内各所から持ち込まれている	この中の織部灯籠の別名は。	イ ロ ハ	牡丹灯籠 高速灯籠 キリシタン灯籠
3	教育センター正面の屋根の下の巨石	通称「天磐船」と呼ばれ、神様の乗り物とされる	天磐船の周囲にある6個の突起物はなに？	イ ロ ハ	移動時、縄を掛けるもの 石亀の手足の未完成品 天から落下した時の瘤
4	生石神社参道	絵馬堂の下に急勾配の石段の参道がある	神社への石段の段数は。	イ ロ ハ	108段 169段 500段
5	竜山一号墳	身(本体)と蓋が一对の石棺が無造作に放置されている	竜山一号墳の小型石棺について。	イ ロ ハ	豪族の子どもの墓 犬など小動物を葬った 一旦土葬又は火葬にした後、石棺に納めた
6	神社の絵馬堂	神社の絵馬堂の中央部に算額が掲げられているがこれはレプリカで拝殿の上には本物がある	この拝殿上部の算額について次のどれでしょう？	イ ロ ハ	市指定の文化財である 県指定の文化財である 国指定の文化財である
7	神社のご神体は巨石が水に浮かんでいる「浮石」である	約6m四方の大きな竜山石で、比重は約2.3と言われる	浮石の重さは(ヒント: 6 x 6 x 6 x 2,3=)	イ ロ ハ	約5トン 約50トン 約500トン
8	加茂神社	加茂神社の倉庫から有名な画家が描いた絵馬が発見され、現在曾根天満宮に保管されている	加茂神社から発見された絵馬の作者は誰？	イ ロ ハ	橋本関雪 曾我簫白 伊藤若冲
9	飛鉢塚	インドから紫雲に乗って法華山まで飛んできて一乗寺を建立した有名な仙人は飛鉢の術を使った	飛鉢術を使った仙人の名前は？	イ ロ ハ	放蕩仙人 法道仙人 行基菩薩
10	観濤処	観濤処は文字通り「荒波を觀賞出来る処」という意味である。	「観濤処」の筆者永根文峰がこの字を書いた時の年齢は	イ ロ ハ	19歳 39歳 59歳

出題：高砂歴史ガイドクラブ



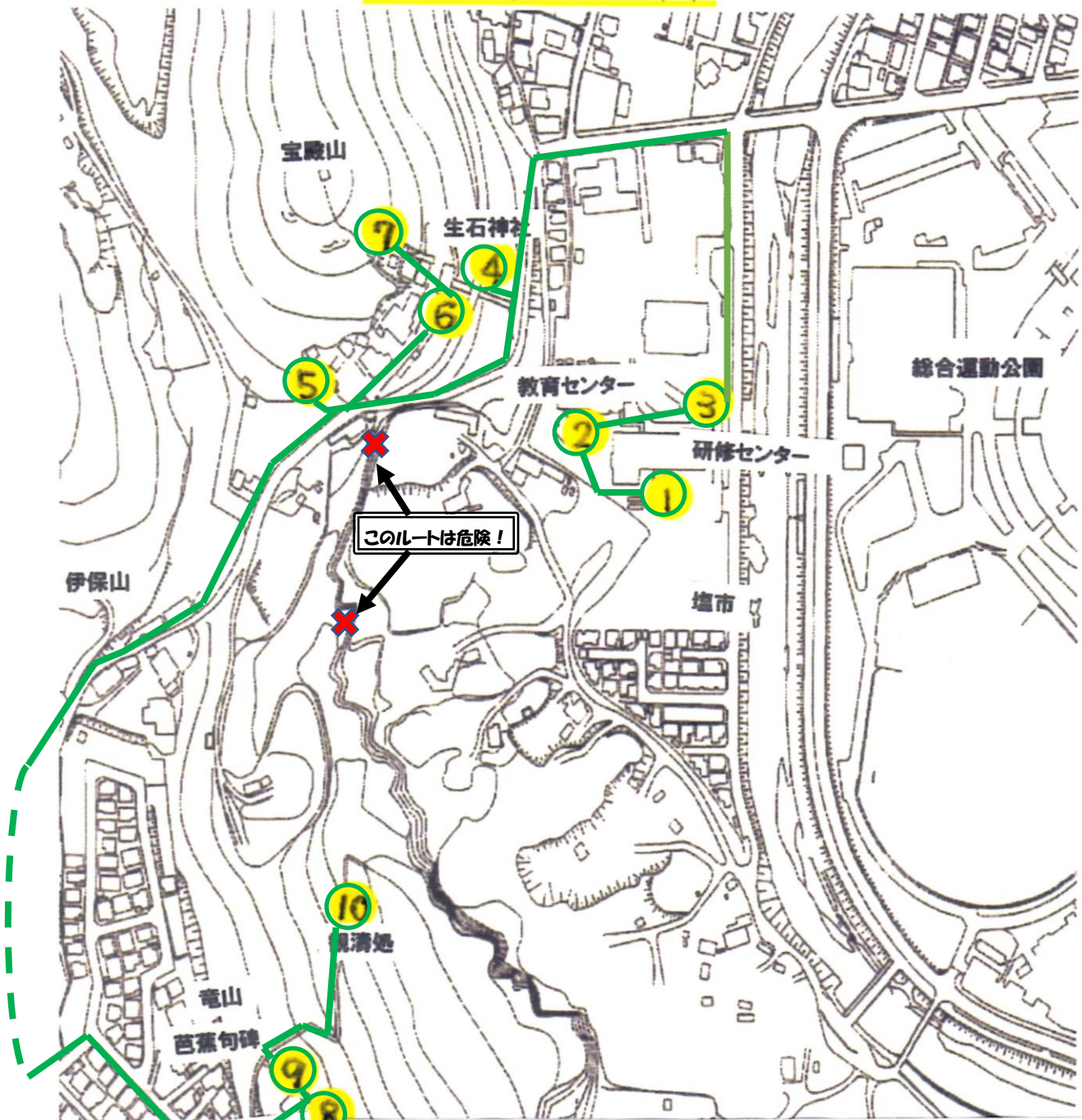
# 魅力再発見！ 石の宝殿・竜山周辺のクイズラリー

開催期間 2018年10月1日(月)～11月30日(金)

講演とルート案内:10月8日(体育の日) 9:30～12:30

主催：石の宝殿研究会

周辺マップ



問題の所在地			
番号	コース	番号	コース
1	研修センター前の浮石	6	生石神社の絵馬堂の算額
2	教育センター中庭の灯籠	7	生石神社ご神体の浮石
3	教育センター前の巨石	8	竜山南麓の加茂神社
4	生石神社参道の石段	9	観瀆処入り口の飛鉢塚
5	駐車場脇の竜山1号墳	10	竜山南中腹の観瀆処三大字